

第6学年〇組 社会科学学習指導案

1 単 元 明治維新をつくりあげた人々

2 指導計画（9時間完了）

- (1) 2枚の絵を比べてみよう … 2時間（本時1・2／2）
- (2) 若い武士たちが幕府をたおす … 1時間
- (3) 新しい国をつくる … 1時間
- (4) 人々のくらしや考え方が変わる … 1時間
- (5) 自由民権運動が広がる … 1時間
- (6) 国会が開かれる … 1時間
- (7) マイタイム … 2時間

3 本時の指導

(1) 目 標

- 明治時代の人々のくらしの様子から、明治維新による急激な社会の変化に気付き、関心をもつことができる。【発表の様子】（関心・意欲・態度）

(2) 情報活用能力の育成について

- **明治時代の人々のくらしについて、クイズを作るために必要な情報をインターネットから収集し、集めた情報を加工して、クイズ形式にまとめることができる。**（情報活用の実践力）

(3) 準 備

教師…画用紙、油性ペン、コンピュータ、プロジェクタ

(4) 指導過程(太字斜体…情報活用能力の育成にかかわる部分)

時間配分	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価の観点と方法
15分	1 江戸時代と明治時代の日本橋近くの写真をスクリーンに提示し、違いを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二枚の写真が同じ場所であることを知らせ、服装や建物など、何がどう変わったかに着目させて発表させる。 ○ 明治時代になると、人々のくらしの様子が大きく変わったことに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 進んで二枚の写真の違いを見付けようとしているか、児童の様子からつかむ。
30分	2 グループに分かれ、インターネットから明治時代の人々のくらしについて調べ、クイズ形式にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一問一答ではなく、二択や三択形式でクイズを作らせる。 ○ あらかじめ教師で作成しておいたリンク集を使って調べさせる。 ○ 発表会を行った後、みんなが興味・関心をもつことができたクイズを、「深いクイズ」として決定することを伝え、クイズ作りへの意欲を高めさせる。 ○ クイズ作りにつまずいているグループには、教師から、クイズを作りやすいページや内容を紹介し、クイズ作りの参考にさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クイズを作るために必要な情報を、インターネットから収集し、クイズとしてまとめることができたか、クイズの内容からつかむ。
20分	3 クイズ発表会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとに、教室の前に出てきて発表させる。 ○ 他のグループの発表を聞くときに、クイズの中身が、自分にとって興味・関心をもてるような内容だったかどうか考えさせながら発表を聞かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 明治維新による急激な社会の変化に気付き、関心をもつことができたか、発表の様子からつかむ。
20分	4 お互いのクイズについて話し合い、「深いクイズ」を決定する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「深い」「かなり深い」と書かれた札を各グループに配布する。 ○ 興味・関心をもつことができたかどうかを観点に、よかったクイズをグループで考えさせる。 ○ 全てのグループの発表が終わった後、それぞれのクイズについてグループごとに札を挙げさせ、「深いクイズ」を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ クイズに含まれる情報のおもしろさなどに着目して、どのグループが一番良かったかを考えることができたか、児童の発表の様子やつぶやきからつかむ。
5分	5 次時の学習課題について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習内容を振り返らせるとともに、次時の学習目標を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の学習目標をつかむことができたか、表情や発言からつかむ。